※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	（学）現代史	単位数	2	年次	2～3
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、近現代を中心に、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養うことを目的とします。

2　学習の到達目標

① 現代史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。
② 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察し、構想したことを説明する力を身に付ける。
③ 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代史についての基本事項を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	現代史を中心とする世界の歴史を、日本の歴史と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	現代史を中心とする日本を含めた世界の歴史に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期(後期)	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動	a：ヨーロッパの国際関係を中心に第一次世界大戦が起きた背景や戦争中の社会の変化、その後の影響と大戦後の国際秩序の問題点を理解し、知識を身につける。 b：第一次世界大戦について事象の概念や意義、日本に与えた影響、ヴェルサイユ・ワシントン両体制の問題点と、アメリカの繁栄、ソ連邦の社会主義建設といった欧米諸国の動向に関して多角的・多面的に考察し、思考したり説明したりしている。	定期考査 小テスト	定期考査（論述） ワークシート	振り返りシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

			c：第一次世界大戦おける帝国主義諸国間の覇権争いとしての性格、経過と影響、その後のヴェルサイユ体制や中国における民族運動の高揚、ガンディーを中心としたインドの民族運動、ムスタファ＝ケマルによるトルコ革命など、アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に主体的に追求しようとしている。			
	二つの世界大戦	･世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	a：世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から国際的な緊張が高まる時代、第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解し、知識を身につける。 また、日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程を理解し、知識を身につける。 b：ファシズムの特徴と勢力拡張の過程、日本における戦後恐慌・金融恐慌・昭和恐慌を取り上げ、背景となる関東大震災・金解禁・世界恐慌に関して多角的・多面的に考察し、思考したり説明したりしている。 c：第二次世界大戦の開戦に至る経過、日本における満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の対外政策や軍部の台頭、戦争の拡大と戦場の広域化、核兵器などの大量破壊兵器の被害に主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査（論述） ワークシート	振り返りシート 活動の観察
	冷戦と第三世界の独立	･戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ･石油危機と世界経済の再編	a：第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解し、知識を身につける。 b：親ソ政権樹立による東欧諸国の社会主義化とアメリカ合衆国の経済援助や「対ソ封じ込め」政策や西欧や日本の経済的な復興や高度成長、石油危機を戦後の国際政治に与えた影響に関して多角的・多面的に考察し、思考したり説明したりしている。 c:朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって、国際政治や経済、アジア・アフリカ新興独立諸国による第三世界の台頭とキューバ危機以降の米・ソの政策について主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	振り返りシート 活動の観察

※令和４年度以降入学生用

	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸特徴	a：東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展、途上国の民主化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解し、知識を身につける。 b：ラテンアメリカやアジアの途上国で進展した民主化の過程と、アジア社会主義諸国の経済開放政策やその変容や新たな地域紛争の頻発、経済格差や深刻化する貧困問題など、現代の諸地域世界の情勢に関して多角的・多面的に考察し、思考したり説明したりしている。 c：世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みや現代における科学技術の発達と現代文明の抱える危機、現代思想や文化の特徴について主体的に追求しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査(論述) ワークシート	振り返りシート 活動の観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度